

1 - 1 厚岸菱形基線測量結果

Results of Resurvey at Akkeshi Rhombus Base Lines in the Southeast Part of Hokkaido District

国土地理院地殻調査部
Crustal Dynamics Department, Geographical Survey Institute

北海道東南部に設定してある厚岸菱形基線において昭和54年8月に第5回目の測定を実施したので、その結果について報告する。

第1図に測点の位置と水平歪、第1表に各回の測定値とその差、第2図に各辺の経年変化を示してある。東北端にある真竜測点は再設のため、今回比較できる辺長は苫多、床潭、仙鳳趾関係の3辺である。最近の5年間には有意な変化は認められない。

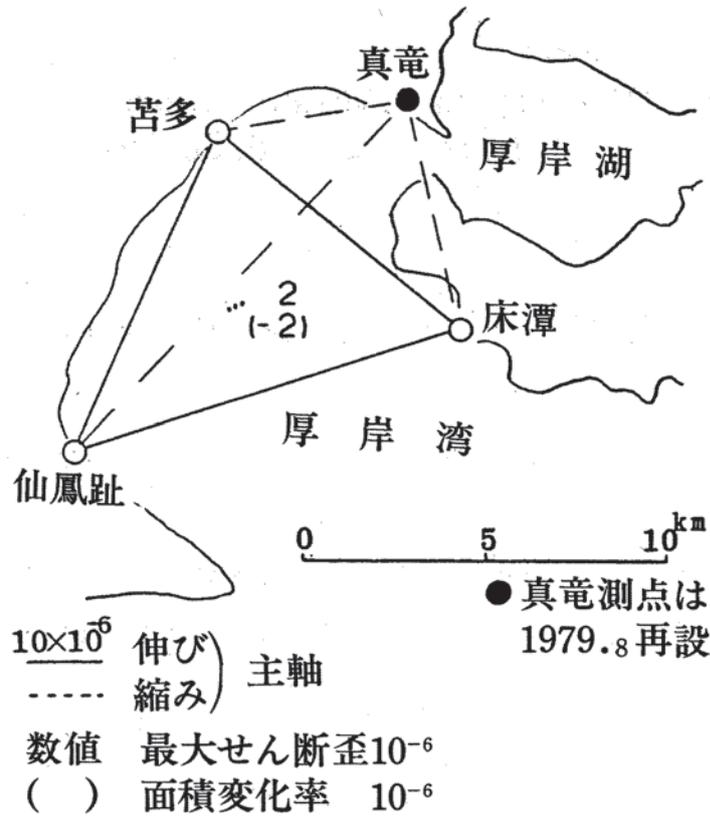
参 考 文 献

- 1) 国土地理院測地部・地殻活動調査室：北海道東部の水平地殻変動，連絡会報，10（1973），10 - 11.
- 2) 国土地理院測地部・地殻活動調査室：1973年根室半島沖地震による北海道東部の地殻変動，連絡会報，11（1974），7 - 13.
- 3) 国土地理院測地部・地殻活動調査室：1973年根室半島沖地震後の北海道東南部における地殻変動，連絡会報，13（1975），1 - 3.

第1表 厚岸菱形基線測量結果

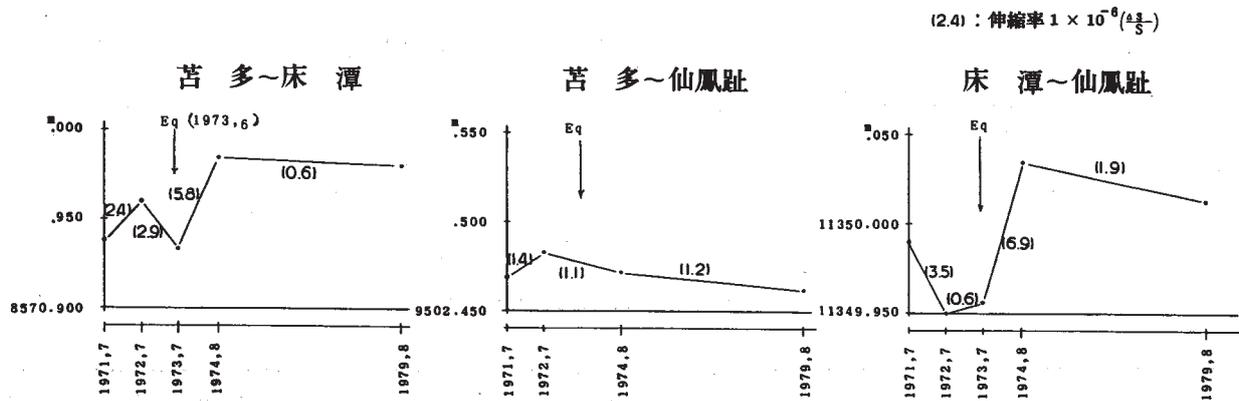
Table 1 Results of resurvey at Akkeshi Rhombus Base Lines.

測定年 区 間	I 1971.7	II 1972.7	III 1973.7	IV 1974.8	V 1979.8	II-I	III-II	IV-III	V-IV	() は前回の比較
苫多～床潭	8,570. ^m 94	^m .96	^m .94	^m .98	^m .98	+ ^{cm} 2	- ^{cm} 2	+ ^{cm} 4	^{cm} 0	
同～仙鳳趾	9,502.47	.48	-	.47	.46	+ 1	-	(-1)	- 1	
床潭～同	11,349.99	.95	.96	.04	.01	- 4	+ 1	+ 8	- 3	
同～真竜	6,604.63	.64	.58	.63	-	+ 1	- 6	+ 5	-	
真竜～苫多	5,048.33	.33	-	.35	-	0	-	(+2)	-	
同～仙鳳趾	13,216.84	.82	-	.84	-	- 2	-	(+2)	-	



第1図 厚岸菱形基線の位置と水平歪

Fig.1 Location and strain of Akkeshi Rhombus Base Lines.



第2図 厚岸菱形基線の辺長変化

Fig. 2 Change of side-length at Akkeshi Rhombus Base Lines.